

## 不妊治療で鍼灸に来院される患者様の年齢、妊娠に至るまでの期間と回数の推移

徐大兼、小林哲也、石橋朋子、草薙久美子、大西葉子、中嶋恵子、小澤麻葵子、西村亮二 1)

### 1) アキュラ鍼灸院

#### 【目的】

昨今、不妊治療に鍼灸が有効であるという世間の認知が広がる一方、実際に客観的なデータや理論が確立されることは未だ実現していない。このたび、当院の治療実績に関して妊娠期間と回数に関して推移をまとめることで、今後の研究の架け橋としていきたい。

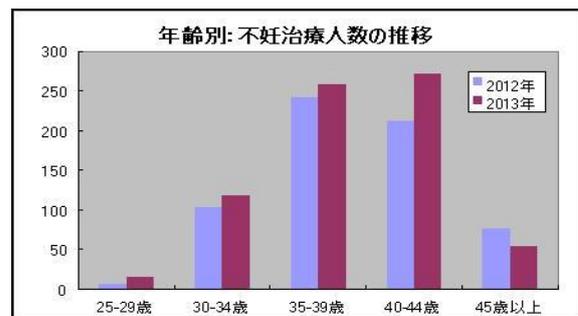
#### 【方法】

不妊治療を目的として2012年1月～2013年12月にアキュラ鍼灸院で鍼灸治療（施術者9名、特定の治療法ではない）を受け、医療機関において妊娠陽性判定を受けた女性191名（妊娠・流産歴や医療機関での治療の有無は問わない）を対象として、昨年度実績との年齢別、治療期間、治療回数別に分類した。

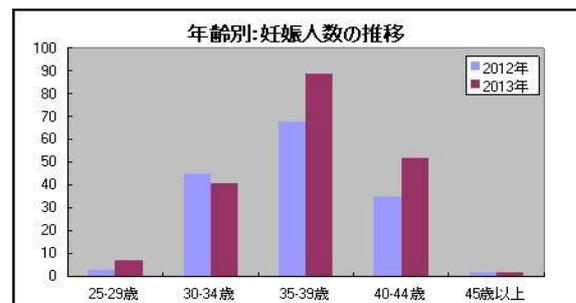
#### 【結果】

不妊治療を目的として来院した患者様数は2013年度で719名（前年642名）、妊娠数は191名（前年153名）平均年齢36.8歳（前年36.5歳）という結果が出た。また、平均治療回数は18.6回（前年18.8回）平均治療期間は6.4ヶ月（前年7.2ヶ月）という結果になった。

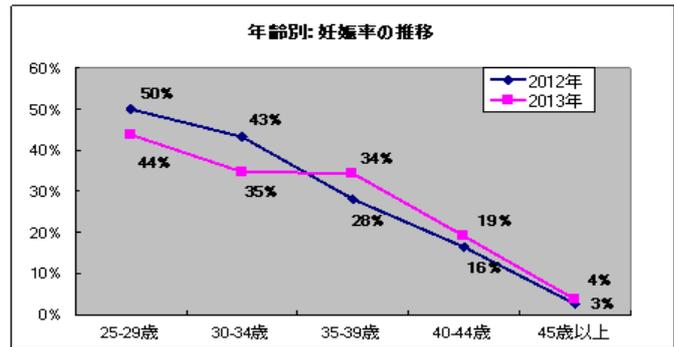
	2012年	2013年	増減率
治療人数	642	719	112%
25-29歳	6	16	267%
30-34歳	104	118	113%
35-39歳	242	259	107%
40-44歳	213	272	128%
45歳以上	77	54	70%



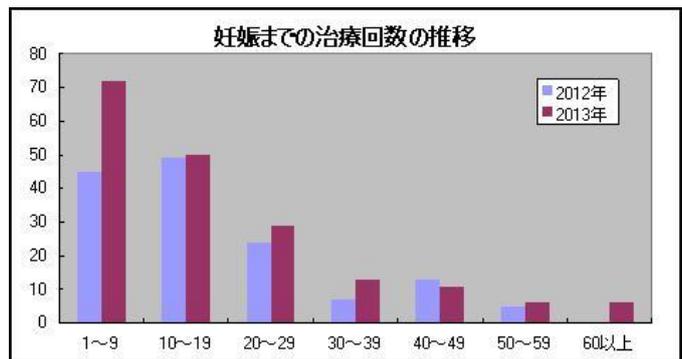
	2012年	2013年	増減率
妊娠人数	153	191	125%
平均年齢	36.5	36.8	101%
25-29歳	3	7	233%
30-34歳	45	41	91%
35-39歳	68	89	131%
40-44歳	35	52	149%
45歳以上	2	2	100%



	2012年	2013年	増減率
<b>妊娠率</b>	<b>24%</b>	<b>27%</b>	<b>111%</b>
25-29歳	50%	44%	88%
30-34歳	43%	35%	80%
35-39歳	28%	34%	122%
40-44歳	16%	19%	116%
45歳以上	3%	4%	143%

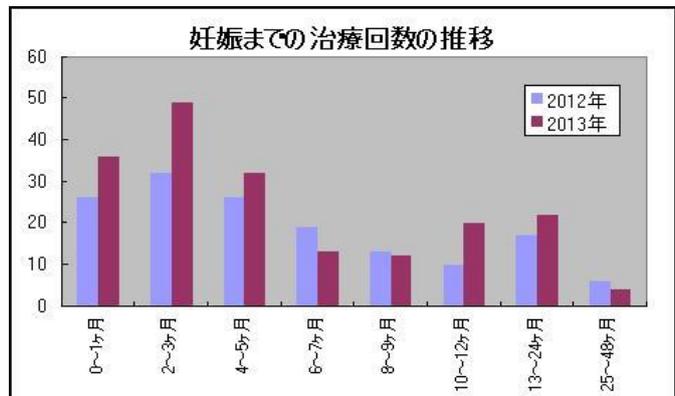


	2012年	2013年	増減率
<b>平均治療回数</b>	<b>18.8</b>	<b>18.6</b>	<b>99%</b>
1~9	45	72	160%
10~19	49	50	102%
20~29	24	29	121%
30~39	7	13	186%
40~49	13	11	85%
50~59	5	6	120%
60以上	0	6	-



※来院回数は前回の出産および流産後の回数

	2012年	2013年	増減率
<b>平均来院歴(月)</b>	<b>7.2</b>	<b>6.4</b>	<b>90%</b>
0~1ヶ月	26	36	138%
2~3ヶ月	32	49	153%
4~5ヶ月	26	32	123%
6~7ヶ月	19	13	68%
8~9ヶ月	13	12	92%
10~12ヶ月	10	20	200%
13~24ヶ月	17	22	129%
25~48ヶ月	6	4	67%



※来院歴は前回の出産および流産後の期間

### 【考察】

不妊治療を受ける母体の高齢化が進んでいることで、当院の来院にも高齢化がみられる一方、20代からの来院も増加しており、早期治療の認知が進んでいることが推察できる。当院では週に1回の治療を推奨しているが、平均来院回数、来院期間に関しては、妊娠数の60%以上が半年で妊娠に至っており、排卵数ヶ月前からの卵胞の成長過程に血流改善、自律神経、ホルモンバランスの調整が有効であることが推察される。妊娠率に関しては、当院の過半数が既に不妊治療歴が長く、複数回の体外受精を経験していることなどを鑑みる必要があるが、昨年度と比較しても、妊娠率の増加や妊娠期間、回数の減少があり、昨年度から、従来の伝統的な経絡治療に加え、山元式新頭鍼療法（YNSA）や、仙骨部への鍼通電療法、星状神経節へのレーザー照射などを治療に取り入れていることが治療効果を高めていることが推察できるが、詳細の分析に関しては、鍼灸を受けていない不妊治療患者との比較など、今後の調査を必要とする。